

# 「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.3 令和2年9月4日

**医療業務に携わる人材（看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等）育成のための進学指導を行います。**

**→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、長岡崇徳大学等の進学を目指します。**

○8月7日(金) 9:00～11:00 医療講演会

対象:1年生受講希望者17人(含 医療専攻希望者10人)

講師:荒川 正昭先生 (元新潟大学長・医師)

佐々木 佳代先生 (県立加茂病院副看護師長)

演題:「医療職を目指す高校生に期待する」

「看護職を志す高校生へのメッセージ」

会場:新潟西高等学校 会議室

## 荒川正昭 (あらかわ まさあき) 先生

荒川正昭先生は、長らく新潟大学医学部で医師として、また教授として教鞭をとられて御活躍されてきました。現在は新潟県福祉保健部参与・新潟県健康づくりスポーツ医科学センター長として、県民の健康に広く貢献されていらっしゃいます。

新潟西高等学校の「医療専攻」は今年度新入生の該当者が9期生となります。荒川先生は本校の「医療専攻」のスタート時から応援してくださっており、今年度も新入生に向けて御講演をいただきました。

## 佐々木佳代 (ささき かよ) 先生

佐々木佳代先生は、県立小出病院や県立吉田病院で看護師としてお務めされ、県立吉田病院付属看護専門学校で教員として看護学生の教育にも携わっていました。現在は加茂病院で副看護師長であり、皮膚排泄ケア認定看護師としても御活躍です。看護師の立場から、看護師の現状や魅力などをわかりやすく語っていただきました。



### \*生徒の感想\*

「病気ではなく、病人をみる」という言葉は私の心に凄く響きました。知識・技術だけでなく人間性やコミュニケーション能力も求められていること、学び続けることの大切さと、どんな状況であっても「今」自分に何ができるのか、しなくてはいけないのかを考えることが大切だと分かりました。何よりも先生方が、ご自分の仕事を楽しそうに、今の生活を幸せそうに話しているのを聞き、よりこの医療関係に進む気持ちが固まったと思います。



○8月7日(金) 14:00~15:00

医療講演会

対象:2年生医療専攻生

講師:小池 宜子先生

(五泉中央病院緩和ケア認定看護師)

演題:「緩和ケア」

会場:新潟西高等学校 社会科教室

### 小池宜子(こいけ よしこ)先生

小池宜子先生は、看護部長室付け教育担当看護師長として、真仁会の教育全般に携わっています。2007年から開催している緩和ケア研修は大変好評で、今まで約300名が受講しました。看護学生への講義や実習指導、一般市民への啓発、そして新潟県看護協会緩和ケア認定看護師教育課程の委員としても活躍されており、忙しい毎日を送られています。



#### \*生徒の感想\*

今回の講演会で、「緩和ケア」とは、病気による患者さんとその患者さんの家族の心や体の痛みを和らげてあげることだと分かりました。私は看護師を目指しているのですが、今回の講演会で、患者さんとその家族の心や体の苦しみを和らげ、患者さんが自分らしく過ごせるように、最後まで寄り添ってあげられるような看護師になりたいという具体的に目指したい看護師像を見つけることができました。……私はこの講演会で初めて泣きました。とても心に響きました。私は、患者さんが何でも安心して話せ、相談でき、思いっきり泣くことができる、そんな信頼される看護師になりたいと強く思いました。